明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可　（日刊）　月曜及祭日の翌日休刊　明治四十四年一月廿一日（土曜日）　第六百六號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

雜報

日韓殖産會社第七回營業成績

取締役深水清氏談

會て貸金業を半島唯一の利殖事業として一時勃興したる同事業も一旦軍隊の解散に逢着し續て諸般制度は改革せられ殊に抵當權設定上の法規は改正頻繁每時綿密を極め從來法規に慣れざる鮮人は甚だ複雜なる規定に耐へず抵當付貸借は全然忌避すると共に一般衰頽需用又漸く減退し當業の打撃は殆んど絶頂に達したるもの〻如し且つ本期の初めより彼の日韓併合の巷說區々にして內外其適歸する處を知るに由なく業務は一段の阻碍を生じ流質更に加はり狀勢なるも當務者は拮据經營是れが活動に勉め一面流質家屋に大修理を加へ專ら賃貸の收得と利子の回收を計りたる結果期末に至り前期と略同一の利益を收得したり而れども本社は創業以來彼れが如き良好の成績を收め得たるもの最近漸く利廻りの著しく減退したるは當事者が夙に痛心する處なるも本期の央に於ける日韓併合なる帝國の大英斷は半島に於ける古今未曾有の大革命なりせば此の時運に際會し而も一般衰耗需用皆無と云ふ境涯に臨み先づ前期と同一の成績を收めたる當事者も又尋常の手段にあらざるを察すべし故に今後の事踏に付ては未だ豫期する處なしと雖も併合後の一般人氣は帝國臣民たる光榮と共に豫期以上融通の途開け上下を通じ前途樂觀の兆あるを認むるを以て此處一二期を經過せば或は又以往に等しき事蹟を上るは敢て難事にあらざるを信ずと云々

尚ほ當期間利益金は定款第四十條に依り左の如く分配したりと

一金二千四百九圓二十七錢五厘　當期純益金
一金九百二十圓九十六錢一厘　前期繰越金
總計金三千三百三十圓二十三錢六厘

●漁業根據地貸下

熊本縣の所有に係る南鮮沿岸に於ける左記漁業根據地は移住漁業者及び通漁者の爲め極めて好適地なるを以て同縣遠洋漁業團に於て之を經營し團員漁業者の便を計る目的にて本月十五日より向五箇年間無償貸下を栗團長より同縣知事に申請せるが其箇所は慶尙南道龍南郡蛇梁面西迫洞堂山員規二箇所、同道同郡山陽面項洞一箇所同道巨齊郡二運面長承浦一箇所同道東萊郡砂下面淸山洞同字一箇所都合五箇所總面積千八百五十一坪にして十六日其の申請を認可せらる

雜報

蟇老人の氣焔（上）

（小蟇）

ヤッテ來たね今年は雪が多くて寒からう寒びしくッてれ百姓機嫌じやの一ナニこんなに寒い時は溫突の中で湯豆腐に限るッて今時の若い者は是れだから困る、老人なんか七十二の亥歳生れじやよ毎朝水で顔を洗ふて居るナニ蟇だからおれ前も口の惡い男だソレデ溫突なんか大のきらいじや先憂後樂の志ある大丈夫たる者がそんな事でどうする老人杯は三四十年前に溫突亡國論を叫んで警告する處があッた位だが但耳に入らじでしかたがないナニ溫突が何んでいかんとだからおれ前杯は靑くて困るて一事よ……また高等女學校の事を夏頭も話したではないか併し折角だから一ツ二ツ小言を云つて見よう……今時の女學校が良妻賢母を作るに鑄型に嵌めて其通り出來るものと思ふて居るのが第一間違さ、だから四、五年間に何んでも敎でも詰め込む事になる拐て詰め込んだ方ではヤレ〳〵是で安心先以て賢母良妻が出來上つた立派な者だ杯と自惚眼で看て居ると豈計らんや消化力が少しもないのだから詰め込れた方じや學校を出るが最後忽ち急性腦加見を起して大下痢を始め良妻賢母の實となる部分が皆敗腐して出る後には粕斗り殘ると云ふ始末さだから先へ杯は今時の學校は困ると云ふのじや是は學校の管理敎育方法に餘程の改良劑を投ずると同時に學傭共に人の師表たるべき人物を用いねど到底良妻賢母の見本も出來ん！倫理修身を口に斗り云ふ先生でなく獨愼の實ある人物が必要だと云ふ

山中鹿之助

六十一回　西尾麟慶演

主「ベロン〳〵と申しましたのは琵琶の音がベロン〳〵と聞へます、ソコデ私はアレをベロン〳〵と覺へました○「困る奴だナ當時都に於て王侯貴人も之を學ぶ琵琶が判らぬか　主「些とも判りません○「アノ琵琶を奏て居る者は何人だ　主「アレは私共へ近頃參りました、京都の琵琶法師で御座ひます、○「左樣か、何うぢやらふ吾々の酒宴の席へ御出下さる事は出來まいか、一囘奏て頂きたいものだ　主「畏りました何んと申しますか一應承つて參りませうと、出て往きましたが再び是へ參りまして　主「只今聞き合せましたら尼子殿の御家老九郎左衞門殿御家來方とあれば仰せに從ひて一曲奏でるで御座らふと、御承知なさいました○「夫は千萬忝けない　主「處で申上げて置きますが、決して禮物は受ぬからと被仰います、何に一品でも琵琶を奏た禮としては受けられないと申します○「夫は有難ひ、禮物を取らぬとは天晴見上げた御心懸左う聞ては猶更一刻も猶豫はならぬ、是へ案內をしてもらひたい　主「畏りました只今御案內致します、出てゆく主人間も無く琵琶法師を夫へ連れて參りました、此の法師こそ毛利元就の命によつて、山中鹿之助を殺し、尼子義久を失ひ、あはよくば十一州を切取らんとの大野心ある德市、悠々と夫へ入つて參りました、ソンナ危險な奴とは知らず、尼子九郎左衞門の家來共は○「サア法師是へれ進み下さい、吾々は富田の城に能在る尼子九郎左衞門の家來青山竹之進、增井長四郎、海老名源藏、柘柱正一郎、と申す者貴殿の名手を御所望申す、如何で御座らふ酒宴の狽ぞ申しては失禮であるが、一曲奏ていたゞきたい　德「是は〳〵御叮嚀な仰せ、手前は都の者なるが、此度神願の事あつて嚴島辨財天へ參詣致す者、當所は尼子殿御支配地にて、富田の明神鎭座在ますと承けり、參詣旁罷り越しまして當時此の小松屋に止宿致し居ります、甚だ拙き調べにて御不興を受くるやも知らされど、御所望に從ひ、一曲奏でるで御座らふ○「夫は千萬忝けない　德「就ては只今主人より御聞きでもあらふか手前は一錢たりとも禮物は受けん拙き藝をれ聞き下さる方々へは當分より御禮を致す、何卒禮物を取て御聞きを願ひ度存する、此の儀御不承知とあらば御斷り申す、尼子の家來が無ひた○「オイ中村、妙ナ奴があるもんだ、聞せる方から禮を與れるくは面白い○「此の法師は金持の悴か何かで道樂で琵琶を奏で、金を遣つて歩くのだらふ○「有難ひこんな藝人には滅多に會ない……エー法師、折角の御厚志を御辭退申すは失禮、如何にも禮物を取て承はるで御座らふ　德「夫は千萬忝けない、然らは御免を蒙る、と此の德市が杜を捻つて調子を合せる、此の琵琶法師は左りの爪を長く生して置くのを上手としたものださうで、當時は大分琵琶も流行致しまして、東京杯には每日の樣に會か御座ひます然し吾々共が聞きました處で、何れが良いか何れが惡ひか判りませんが、如何にも高尚なもので御座ひますさうで、是から德市が平家物語を一曲奏でました、實に梁の塵もどまり又其音聲の清朗なるは極樂にありに聞く、伽陵頻伽の鳴音も斯くやあらんと思はれたり、中々入釜數聲で御座ひます一曲終るど人々○「イヤ敬服致しました、恐れ入りました　德「御賞めに預つて赤面の至り、就ては御約束であるから之を御受納下されたいど、金子を差出しました、一同は此の結構なる音樂を聞き剩へ金子をもらう、こんナ嬉ひ事はない愈々大家の悴が道樂に琵琶法師となつか者だと思ひました、傍に聞て居りました、此處の亭主が　主「イヤ私も始めて承はりました結構なもので改めて今一曲伺ひたいもので　德「イヤお前には聞ぜもない　主「何故で御座ひます　德「お前は琵琶を聞くより金子が欲しいのだらふ、中々お前には琵琶の味は判らぬ　主「何に判らない事が御座いませう、旨いもので御座ひますが、稗が大きいで困ります　德「夫は果物の琵琶だ

京城居留民團民會議員
西部候補者（イロハ順）

池田長次郎君
大村保太郎君
海津三雄君
高橋章之助君
曾我勉君
中島司馬之助君
松浦源治君
深水清君
榊原長緒君
三好和三郎君

也

右推薦候

明治四十四年一月　日

西部有權者選擧事務所

京城居留民會議員候補者（イロハ順）

林田金次郎君
和田常市君
中村再造君
山口太兵衛君
松永達次郎君
增田三穂君
小林藤右工門君
秋吉富太郎君
城六太君
森勝次君

也

右推薦候

明治四十四年一月　日

中部同志會

京城居留民團民會議員
東部繁榮會候補者（イロハ順）

石井新君
大橋清三郎君
梶原末太郎君
田村義次郎君
釘本藤次郎君
淵上貞助君
古城梅溪君
近藤佐五郎君
木島平兵衛君
關繁太郎君

也

右推薦候

明治四十四年一月　日

東部繁・榮會

東京電報（十九日着）

▲寺内總督の着京 寺内總督一行は廿日午前九時四十分新橋着入京したり

▲遣英宮御發期 御名代東伏見宮依仁親王同妃兩殿下には來る四月十二日東京御出發横濱解纜の日本郵便船賀茂丸に御便乘五月三十日佛國馬耳塞御着巴里、御滯在夫より倫敦に向はせらるゝ事に御決定相成

▲東伏見宮隨員 東伏見宮同妃殿下の隨員は陸海軍將官二名外長崎式部官宮岡御用掛濟川海軍少佐小野家令平林家扶侍者侍女各一名にて戴冠式當日は隨員にて參列の光榮を有するものは同帝室より四名と限定せられたるより陸海軍將官二名長崎式部官宮岡御用掛の四名參列す

▲遣英宮御視察 東伏見宮同妃兩殿下には前後八凡十日間英京御滯在御歸途獨墺伊の各國を御訪問ゼノアより御乘船御歸朝の御豫定なりと承はる

▲王族の名譽表彰 我が皇室にては今回朝鮮貴族の威嚴を保持し名譽表彰の爲め左の如く禮遇を與ふる事に決定し不日發表さるべし

陸軍大將 李王殿下
陸軍步兵中尉 王世子殿下
李熹公殿下
李堈公殿下
陸軍中將 李載完氏
陸軍少將 李載覺氏
李埈鎔氏

▲記者團の宣言書 同志記者火曜會は左宣言書を決議し廿一日各政黨及其領袖貴衆兩院議員全部並に全國各新聞社に配布すべし宣言書は現内閣の施政日に立憲の精神と背馳し專恣橫暴憲政の實漸地を拂はんとし加ふるに内政の計畫は當初の口約を蔑視して四離滅裂を極め民力は疲弊益甚しきに至り外政は萎靡國威を損傷せんとす我同志記者火曜會は之を默視する能はず總ての政黨政派を戒しめ輿論に民意の存する處を知らしめ現今の武斷政治を根本より艾除するに力を盡さしめん事を期す

▲三千噸の連絡船 鐵道院にては關釜連絡船に當つる爲め三千噸の汽船二隻を建造する事に決し其經費を來年度豫算に計上したり

雜報

●定例長官會議 二十日午前十一時より總督府にて定例長官會議を開き山縣總監をはじめ石塚、倉富、木内、明石、鈴木、小松、小原、岡本、小城の諸氏出席し各々政務に關し打合す處ありたり

●總監邸の茶話會 二十日午後五時三十分より山縣政務總監は同官邸に關屋學務局長以下實業學校會議に列席中の學校長學監其他關係各課長を招待し茶話會を開催したり

●實業學校長會議（第二日） 内務部に於ける各道實業學校長會議は前日に引續き二十日午前十時より開催學務局長以下參列午前中は諮問事項及各提出問題等の協議を爲し午後中田土地調査局技師臨席關係事務に就て打合を爲し午後三時同會議全く終了したり

會社令制定の眞相

小松總務部長官代理は朝鮮會社令に就きて左の如く語れり

今回實施せられたる朝鮮會社令に就き世間種々の説を爲し或は嚴酷なりとて之を非難し又は泡沫會社防遏須なりとして之を辯護するものあり實際の事情を詳かにせざる内地人か嚴酷と見るもあながち咎むべきに非ざると同時に唯々泡沫會社防遏策とのみ見ては未だ盡さゝる所あり元來寺内總督の方針が朝鮮の富源を開拓し民力の發達を圖るが爲めに健全なる事業の經營を獎勵するに在ることは其の屢々言明せられたる所にして着實なる會社の設立を歡迎せらるべきは疑を容るゝの餘地なく從ふて泡沫會社の排斥せらるゝに惑るべきは當然の結果に外ならず朝鮮の現狀は固より内地のそれに比すべくも非ず併合の變革後未だ半年に至らずして改善の事業は僅に其の緒に就きたるに過ぎず此の過渡の時代に在りて幸に近年稀なる平穩の狀況を呈し三千萬圓の恩賜公債は分配せられ之より生ずる百五十萬圓の利金は年々朝鮮人民既有の富に加はるに至るべく此の最も企業熱の勃興する時に方り朝鮮人中一方には未だ充分に經濟事情に通曉せざる多數の良民あり他方には其の無經驗に乘じて奇利を博せんとする狡猾の徒尠からず又内地に於ても目下特殊の時機に際し朝鮮の實情能く世人に知れ渡らざるに乘じ何事を爲すも成功疑ひなきが如くに吹聽して叨りに資本を集め朝に起りて夕に仆るゝの會社を設立するもののなきを保すべからず斯くては日鮮良民の損害を蒙るもの多かるべきは勿論眞面目なる企業家は之が爲め種々の障碍に遭ふて其の手足を伸ふる能はざるに至るべし是れ最も見易き事理なるに尚ほ之をしも傍觀して自然の成行に放任せよといふは是れ寧ろ殘忍なる注文ならずや總督如何に武井の出たりとも斯る要求に應ずる程冷血無情ならざるべし會社令を以て酷に失すと云ふものこそ却つて酷に失するものに非ずや

且又朝鮮に於て設立する會社は會社令に由りて終始するものに非ず實質に於ては商法中會社に關する規定の適用を受くるものにして唯々以上開陳せる事情あるに依り形式に於て許可を要するの差あるのみ其の許可を要し且罰則の重きは投機業者流には苦痛なるべきも着實なる事業家に何等の影響を及ぼさゞるは良民が刑法罰則の寛嚴に關心せざると同樣なるべし況んや其の罰則とても改正商法の草案と同一なれば寧ろ進歩したる法規と謂はざるべからず

要するに泡沫會社の排斥は手段と云ふを得べきも目的には非ず朝鮮に會社らしき會社なき今日徒らに會社を防遏する必要なければなり會社令制定の本旨は健全なる會社設立の途を開くに在るは明瞭なるを以て江湖識者の歡迎すべきは吾々の信じて疑はざる所なり

●日韓瓦斯總會 同社昨年度下半期決算は今一月を以て終了の筈なれば未だ全体の成績は不明なるも去月末迄の成績に依りて一月を推せば多分前期より配當一分增の年七朱となり得べき見込なりと云ふ又同社の定時總會は從來二月八月の兩度と定められたるも營業地遠隔せる爲め決算月の翌月直に總會を招集するは從前の制度は種々の不便あるを以て今期より一ヶ月繰下げ三月九月の兩度に改め來る三月上旬株主總會を開會する事となれり

天一銀行期下半成績（四十三年度）

同銀行下半期の營業成績を聞くに別項談話のやうなるが今期の利益は繰越金を含めて三万三千九百五十三圓九十錢にして配當は例年の如く一割なりと

支配人 遠山熙氏談

概して申上げますれば七八九月は合併問題解決前の關係から商取引は沈睡して居りましたが十月愈々合併といふことになりましてからは金融界は漸く復活し同時に米の豊作大豆の好値等の爲めに業務繁忙を極むるに至りました十一十二月になりましては取引愈々頻繁となり遊金も使ひ悉すといふ有樣でした殊に朝鮮人側に於きましては例の恩賜金の下付を始め平穩と安堵米相場の好いところから購買力を增加して當店の取引先の朝鮮人相手の金巾紡績等の卸賣問屋では日本上海邊より品物を幾程取寄せても需要に應ずることが出來ない位でした十二月に到りましては近年に無い不景氣を以て下半期を終りました各銀行は平年に比して好況なりしこゝは事實で當行は一年毎に營業好況に向ひ利益も確實に得らるゝやうになりましたが是も經濟狀態が以前と異り經濟思想の變遷に伴はれたるものと思ひます二十一日は總會を開きまして利益の配當を致しますが例年の通り一割です之も多くは積立金に繰入れる筈です積立金は今期を加算して十一萬圓程です尚將來銀行の基礎を確實にする爲め積立金を多くして次第に商業銀行たる本職を發揮して擴張して行く積りです云々

●ローヤル亞細亞協會 ローヤル亞細亞協會は同會京城支部を通じ左の人々に向ひ朝鮮に關する各種論文寄贈を請ふ由なり

總督子爵 寺内正毅
政務總監 山縣伊三郎
警務總長 明石元二郎
外事局長 小松綠
韓國銀行總裁 市原盛宏
ソウルプレス社長 山縣五十雄
京城新報社長 峯岸繁太郎

●淸津の電氣事業 淸津及び羅南に大阪の右近、杉村、近藤外四名の資本家が資本金五十万圓を以て電燈及電鐵發起經營すべく曩て出願

東京電報（十八日）

▲聖恩洪大 十八日死刑を宣告せられたる共產主義者幸德傳次郎以下二十三名及び他二名の懲役に對し二十日特赦の恩典を與へられたり

中なることは既報の如くなるが右に對する其の筋の調査も既に完了したるやにて多分本月中には認可さるべしと因に半島に於ける電燈業は既營の釜山、京城、仁川以外認可を得たる馬山浦、鎭南浦、元山、平壤及び出願中の大邱、大田、木浦に淸津、羅南を加へて十二箇所なりと云ふ

●安奉線と關釜聯絡 鐵道院にては安奉線完成の上は本邦歐洲間の交通に一大變化を來し大部分は朝鮮經由たるべしとの見込を立て之に最も關係を有する下關釜山間の連絡汽船は到底現下の壹岐對馬兩船型にて輸送に堪へざるを以て明年度より豫算に之が經費を計上し三千噸の連絡汽船建を造する事に内定し昨今既に設計の大体を終りたる由なるが同院は豫算通過の上は直に三菱川崎兩造船所に見積り書の提出を指命し一艘の建造を契約し次で一艘を建造する計畫なるが該汽船構造は旅客連絡に重きを置き乘客定員一等四十二名二等百名三等二百二十六名貨物は小荷物約百立方尺を一噸とし約五百噸を積載し得可く速力は二十四五海里の豫定にて起工より約一年二三ヶ月にて竣成せしむる筈なりと云ふ

●防疫と開港場 滿洲に於けるペストの流行は猛烈の勢を以て蔓延し居れるにつき國境の防疫は過日來警務總監部にて極力進行中なるが各開港場にては稅關の處管として其手配をなし居る由なるが第一は新義州次は仁川群山木浦及釜山の各稅關にして之れに要する費用なきため豫備金の請求をなすべく目下手續中なり

●仁川防疫所と隔離舍 仁川 仁川防疫所にては肺ペスト豫防の一として廿日より月尾島元死獸製造所を隔離舍に充て長春大連より入港の旅客は一時同舍に宿泊せしめ健康診斷の上上陸せしむる由

●應募檢疫醫の渡滿 滿洲に於ける黑死病益々猖獗を極めつゝあるが右に就き關東都督府にては曩に之れが豫防の爲め檢疫醫を内地に於て募集したるが之に應じたる檢疫醫二十名は去る十七日門司出帆の商船天草丸にて大連に向へり

●露人のペスト研究 露國高等醫學校助敎授バーウングリッツ氏は哈爾賓に流行せるペスト研究を命ぜられたる由にて防疫法等に關し北里博士の指導を受けんため十七日浦鹽より敦賀經由東上の途に就けりと

●中村大佐歸着 中村工兵大佐は曩きに地理實査の爲め全羅南北道方面に出張中の處十九日歸着

●司令部の主計會議 軍司令部に於ては營繕事務打合の爲め派遣隊及重砲兵隊の西村三等主計正を始め加藤入江安藤藤岡等の各一等主計參集して本日より會議を開けり

●新事業委員會 四十四年度に於ける民團の新事業に就ては昨年末委員を設けて調査中なりしが道路修築の件、小學校增築の件は此程委員の手に於て大体調査を終りたるを以て二十日午後一時より民團役所樓上に於て新事業に關する第一回委員會を開きて調査の結果を報告せし由

選擧界の側面觀

▲詮議の限に非ず 山縣政務總監は既報の如く龍山側の申請に係る投票場分設問題に就き關係官公吏を集め其意見を聽取する處ありしが法令の解釋上到底之を許す能はざるものと認め十九日午後詮議の限りに非ざる旨指令を與へたり而して民團理事者は直ちに龍山側に之を移牒したりと

▲龍山側の恐慌 不詮議の通牒に接したる龍山側は今更の如く打驚き斯くては有權者中官吏若くは勞働者最も多數にして時間の繰合せ不便なる同地に在ては到底全部の投票を期し難く則ち勝算なき競爭を試みんよりは寧ろ斷然中止せんに如かずとの自暴自棄論さへ出で當々全市を壓せん勢なりしが一方又穩健なる有力者ありて此現象を憂へ緩和手段を講じつゝあれば圓滿に解決を見るならんか

▲新團体の行惱 龍山及京城市民を打つて一丸とせる新團体起るべく交涉中なりとは既報の如くなるが候補者數に於て兩地の折合面白からず目下行惱の姿なりと云ふ

▲一騎打又現はる 一騎打として競爭場裡に立てる面々は前田熊市、田中始一郎、皆川廣濟、原勝一の五氏なりしが昨日より又々中島安彌、田中常次郎の兩氏出現し各方面を回訪し居ぬ、而して一方各團体にては選殺一騎打の多數出現する丈け夫れ丈け團体の立場に利益ありとて之を歡迎し居れり併し事實は如何のものにや

▲三遊廓の協定 新町、中の新地、龍山桃山の三遊廓は各自の利益を代表するに足る適當なる議員半數以上を得んと腐心し既に某々諸氏十名は此藥籠中に包含せられしが尚は六名を物色せんと二十日午後六時より三遊廓聯合懇親會を中の新地に開き協議を凝らせし筈なり而して此系統に向つて秋波を送るもの彼處よりも此處よりも

▲各團体の勢力 有權者名簿に依り又各派割據の形勢により其勢力を繹ぬるに左の如し

東部	一、八〇四	中部	六六三
西部	一、一九〇	無所屬	四〇七
門外	四三一	龍山	九五九

此現存票數は直ちに各派の勢力と認むべからざるも又大勢の一班を窺ひ得べきか

社告

豫選投票締切延期

吾社計劃の京城民團議員豫選投票は大に市民の注意を惹き其結果如何は直に鼎の輕重を問はしむるの感あるに到りぬ是れ實に吾社望外の成功として聊か誇稱するに足るべきを信ず而して豫定の締切期日は愈々二十日限なりしが顧みれば選擧界の形勢は混沌として朝に夕を測られず之が爲に多數有權者は其の適從する處を知らざるの狀態に在り此際一般の指南針たるべき吾社豫選投票は其締切期か早きに失するの憾みありとて多數讀者より其延期を要望し來る事頻々たるより依て折角讀者諸君の愛顧に酬ゆる爲め締切を

來る二十五日正午

と改定せり讀者乞ふ之を諒せよ

民團議員豫選投票（二十日正午迄通計）

四二〇七票	和田常市
四一三五票	三好和三郎
三三五七票	岩田仙宗
二八四一票	前田熊市
二七八一票	古城梅溪
二七一八票	中村再造
二六四一票	松浦源治
二四三七票	山口太兵衛
二三八五票	小林藤右衛門
二一九九票	城六太
二一六五票	高橋章之助
二一五二票	榊原長緒
二一一八票	大橋清三郎
二〇六〇票	林田金次郎
一九五七票	曾我勉
一八五九票	秋吉富太郎
一八二〇票	伊藤友松
一七二一票	增田三穗
一六四三票	近藤佐五郎
一四一一票	田中始一郎
一三七四票	釘本藤次郎
一三五一票	田村義次郎
一二四六票	皆川廣濟
一〇〇〇票	木島平兵衛
九八七票	大坪文吉
八六三票	關繁太郎
八三七票	中島司馬之助
七五二票	大村保太
六七一票	池田長次郎
六五八票	深水清
六一三票	大村百藏
六〇二票	進辰馬
五七六票	原勝一
五五二票	海津三雄
五五〇票	佐々正之
五三六票	佐野彦藏

十五卜野政次郎　三會澤正　二桐原常三郎　二本宿家全

注意

前號に發表せし得點者にて點數の其儘なるものは本日の表に加へず尚本日よりは五百點以下の得點は新候補者以外は不掲載

公人私人

▲草場林五郎（司法部刑事課長） 同氏及中橋局は昨夜歸任したり
▲淺井安二郎（議政副員） 來京中の處十九日歸任したり
▲野中政市（遞信中尉） 十九日入京山本旅館へ

▲仁川港 船舶出入▼

▲隅田川丸 廿一日長崎より入港
▲高砂丸 同大連より入港
▲興安丸 同門司より入港

相場電報

▲大阪株式（二十日）（明治町西村支店着電）

銘柄		前場	後場
神戸電燈	寄	三八、七〇〇	三八、六〇〇
	引	三八、七〇〇	三八、七〇〇
京阪電鐵	同	六二、八〇〇	六二、四〇〇
	同	出來不申	六二、二〇〇
鐘淵紡績	同	一〇五、八〇〇	一〇六、二〇〇
	同	一〇五、九〇〇	一〇六、二〇〇
日本郵船	同	出來不申	出來不申
東京株式	同	一二三、六〇〇	一二三、四〇〇
	同	一二四、四〇〇	一二三、八〇〇
大阪株式	同	一三三、四〇〇	一三三、四〇〇
	同	一三三、八〇〇	一三三、三〇〇
堂島取引	同	一三一、七〇〇	一三一、五〇〇
	同	一三二、三〇〇	一三一、一〇〇

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
一月二十日	九〇、〇九四、六〇	二九九

▲治外法權▼

我國開闢以來未曾有の大犯罪を企てた無政府主義者二十三名は死刑と決定し、二名は重懲役と決定した、嗚呼不俱戴天の逆賊彼等は彼等の死を以てしても到底彼等の大罪を贖ひ得ぬ▲過日三百萬圓の增資案を決議した漢城銀行は目下一生懸命に株式應募の勸誘に勉めて居る、一寸考へると例の新貴族先生達が直ちに飛付きさうな筈だが中々ソウはイカヌ、貴族曰く漢城未來の配當八分よりは公債の五分の方が確だと▲漢城銀行と云へば例の政府無利子貸下金十萬圓はドウなる事か、三十萬圓の銀行が三百万圓に膨脹するのは漢城の盛運を意味するものだ、モーコウなつては無利子の補助は要らぬ、政府は此際彼の十萬圓を取上げべしだ▲漢城從來の親銀行は第一銀行であつたが今度は韓銀に變はるソウだ、韓銀手を懷にして領土を擴張す、如何に度支部が附いてるとは云へ天祐に非ずんば豈斯の如き旨き事あらんやだ▲寺内總督東上の途次、郷里に立寄り、母堂及先夫人の墓を淨む、知るべし忠臣は孝子の門に出づと▲此間一寸來た小川代議士は内地に歸る匆々會社令の非難を始めた、會社令と空權屋、到底兩立は六ケしいか▲日一日と選擧の模樣が面白くなつて來た東部、中部、西部、而して龍山、月桂冠は誰れがとるか▲一騎打ち連の出現、日に其數を加ふるは此又面白い事だ、月桂冠は元老達の專有物に非ず、誰れでも努力して當選の光榮を擔ふが好い。

雜報

●氷凍せる本町通り(三)

エス生投

次の町では森安と明治屋、丸一モス部の前が軟かく其他は辻屋支店の前でも堅かつた、左側では角の青物屋と菓子屋と丸一の前が融けて居て圓城とやら金物屋や文林堂の前が南山町からのブッ付けに似合はず滑つたは異様に感ぜられた、伊藤組の前の歩行きよいは商賣柄當然と云ふべく鶴屋の前が歩行き惡いは何か因する處あるべく松永の前に半田の前の堅いは先づ當り前、中村再造氏の前が能く碎けて居たは南山町下口の關係もあろう韓銀前は無論どろ／＼程に解けて居たサテ四丁目に至つて滑るが鐵居木島松尾寒水堂滑らぬが百福に青々園、田代、末永、前田等で近藤書籍店の前は御商賣柄堅かつた右側で紗は化堂病院と文林堂前が中處で池田の前でもミーナ固かつた無論瓦斯會社前に車帳場前は別物で旭町入口の雙方融けて居たは申分なく永樂町の入口融けて居なかつたは風向の加減と申すべく日の丸市場前の歩行きよいは商賣柄で尤も申すべく六丁目郵便局前の滑るは聊か不思議藪蕎麥前の堅いは時間の加減もあるべく西崎荒物店前の滑つたには一寸面喰つたコンナ下らぬ事で一々商店の名を擧げるは煩はしいから省く蔭日向の加減もあるか此日のように泣き出しそうな曇つた日には餘り天道樣の加減もあるまいとして見ると門前の氷の融解け鹽梅は之れ總て商賣のバロメートルではあるまいか若し夫れ此記事に對して不平の方があれば御掃除はいり申さぬ各自自身で門前の氷を打ち碎いて人出入の頻繁を裝はれても筆者決して苦情は申さぬ寧ろ道行く人の滑らぬ人助けになる事を保證するトンダ處で側隱の情を起して一寸見たまゝを審かに如しアヽシンド(完)

●平壤電氣認可

同丸

多年の宿題たりし電氣事業設立の件は昨年十月末同地在住發起人十三名の名を以て其筋に請願中なりしが其後の經過は頗る有望なるをもつて何時認可せらるゝや知る可らざるに依り各發起人は豫て五名の委員を選定し其認可の一日も速かならんことを俟ち居りしが果然十六日夜を以て總督府より同府廳に對し電氣事業認可の旨通達ありたれば府廳に於ては直ちに其旨同會社發起委員長宮川五郎三郎氏に其趣を傳へたりと右の如く同地に於ける電氣事業は既に其認可を得たる次第なれば同發起人は又直ちに新會社令に從ひ會社設立の申請書を提出し其許可を申請する由なるが其申請に對しても無論速かに許可せらるゝことは疑ひなきことなれば來る四月中には諸種の準備を了へ會社の設立を見るに至るべしと云ふ

★株式會社百三十銀行 京城支店
電話百九十五番五十八番
振替貯金朝鮮一一三番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
為替取組先
畿内 大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、鎌山
東山道 彦根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋、若松、郡山、酒田、能代、七ヶ浜、仙台
北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、八手、大田
山陽道 姫路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、稱、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、徳山、萩、長府、小月、下之關、明石
南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、鵜濱、川之石、今治、西條、松山、三津ヶ濱、州本、八幡濱、宇和島、高知、徳島、撫養、郡中
西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎
北海道 小樽、函館、
台灣 臺北、臺南、
樺太 大泊
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、尙州、大邱、羅南、新義州、城津、
淸國 安東縣
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

●エールリッヒ氏新梅毒注射藥到着致候御希望ノ者ハ御來院アレ
●内科小兒科
外科花柳病
●入院隨意
京城旭町三丁目
十全病院
電話七三七番

恩給年金立替
者へ便利及期
公債債券現物賣買
保擔
確實取引月一歩五厘
京城中部壽進坊相思洞廿九統七戸下宿業博多屋方
上州屋支店
電話九百五番

長崎流
○しるこ
○茶碗むし
○むし壽し
(出前も御好に應じ可申候)
南山町二丁目(南山渦上㒵)
松その
(電話一一八五番)

エールリッヒ氏
新梅毒注射藥
右新劑サルバルサン到着本日より隨時注射治療致候(入院隨意)
一月十一日
京城南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
案

世帶道具は何でも有り升
外に宅ノ酪酒、手ヨリ白米、和洋ローソク、上白シメ油、㊅醤油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候
日用雜貨 御問屋 京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話二百十番 電署(ニカ)又ニ
振替貯金口座韓國七番

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話 長二三番 四九二番
日本室和食
特等(三圓五十錢)
一等(二圓五十錢)
二等(一圓八十錢)
三等(一圓五十錢)

京城本町二丁目百三十銀行横
野田齒科專門醫院
電話一〇四七番

弊館には夜警の設備有り
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水產組合指定旅館
各保險會社指定旅館
御客樣の安全此の上なし
仁川海岸
旭屋旅館
電話二五一

來れり
寫眞撮影の時季
幻燈器械
寫眞器械
藥品材料一切
旅行用娛樂用營業用
直輸入
京城本町四丁目
織居寫眞機部
電話二六二
振替貯金二三一

英米煙草會社京城代理店
千代田相互保險會社京城代理店
和洋金物商
㊇ 佐野彥藏商店
京城本町貳丁目
電話一六三
振替口座韓國一二〇番
淚平板洋釘、垣用線、銅眞中板亞鉛板各種銅眞中線並に鉎丹
線各種土工用具農具一式〇仙德火鉢鑄物火鉢各種生花用具
一式〇建築金物一切其他鍋釜鑄物類一切

移轉廣告
一弊店等日鮮合邦と京城府發展に伴ひ從來の場所にては不便利に付左記へ假新築移轉仕候間舊倍の御引立の程奉願上候且弊店等の店前には日本人朝鮮人支那人等共に多數開店卸小賣に係らず勉强營業致させ居候に付食料品は全部立所に取揃候間至極便利に有之候共に御引立願上候
京城南大門内南米倉町
㋕ 辻本嘉三郎商店
電話六四一番 本宅旭町二丁目
振替口座京城三八番 電話一四七八番
㋢ 池尻林太郎商店
電話三五一番
振替口座八六番
仲買人 一同

特約店
米國スタンダード製松印石油
下總國野田㊉印醤油
仁川日本醤油株式會社製㊉印醤油
下總國万上印味淋
尾張名古屋㊉印壜詰
汗浦根炭及日本酢
英米煙草會社製品各種
神戸株式會社布引礦泉所製馬蹄印
豊後湯の花精製品(入浴用)
湯の花菓子(茶用)瓶入各種
灘銘酒櫻正宗山邑釀造
堅牢無比の國譽足袋
雜貨部 京城本町六丁目 藤富國太郎本店
貿易部 京城南大門市場 藤富國出張所
木炭部 京城永樂町二丁目 藤富國出張所
電署(ク)

其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋臘、瓦煉瓦、明太魚、鰊、昆布、簾、靑筵、味噌、鑵詰、千香、其他乾物類一式
電話三〇八番

石炭
唐津石炭各種
平壤無煙炭
三池粉炭
筑後炭
鍛冶屋炭 石炭各種
粉炭用
並に
煉瓦製造廉價販賣
石灰(フカシ灰生石灰)製造販賣
仁川支那町一丁目(運輸部横)
八田利三郎本店
電話六十三番地
龍山元町一丁目
八田石炭部
八田利三郎支店
電話五五三番

印章彫刻
ゴム印彫刻
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
電話九三番
諸官衙御用達
奥野岩太郎

貨物運送取扱
關稅貨物取扱
危險擔保付運送品
代金附貨物運送
貨物引換證發行
内國通運株式會社
京城南大門驛前 京城支店 電話一七〇八番 一七七九番
仁川驛前 仁川出張所 電話五二一番
草梁驛前 釜山驛前 釜山出張所 電話六一六番 五三七番
龍山驛構内 龍山出張所 電話二〇六番

今般小生儀朝鮮孤兒院長の勸めにより京城日鮮音樂團を組織致し候に付大勉强を以て各位の御用相勤め可申候間何卒御引立の程偏に奉希上候
京城本町七丁目(深堀製綿所内)
京城日鮮音樂團
主任 深堀久雄
取次電話一八三五番

内科
外科
小兒病
梅毒淋病
入院隨意
京城壽町三丁目
高井醫院
電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

電話開通一千五十番
東大門 池田出張所
朝鮮人向物品委托賣買所
田舍行駄馬運搬所

南大門外池田商會本店は今回從前の場所より半丁西へ移轉し業務擴張仕り候間倍舊御引立相願候
食料品 雜貨 京城御成町 池田商會
電話七五九番
振替口座朝鮮二四七番

ライト
サンライト
ムンライト
製菓部

今般弊社構内高燥淸淨なる衛生地域をトし完全なる病畜舍及治療室を新設し技術鍛能の專門獸醫を傭聘し汎く大小動物家鷄の診療に從事す
入院隨意
附屬 京城 家畜病院
弊場種畜牛、豚、山羊、家鷄等蕃殖致居候間隨時御來場御購求の程願上候
京城南大門外
韓國畜產株式會社
(電話八八番)

瓦斯コークス販賣
京城黄金町高等演藝館隣
酒井組
電話一一四九番

☰
四十四年月割判斷錄。謹嚴至誠の易斷と幹枝九星五行の精理より推斷し月々の運氣方位進退事故病傷の盛衰發應創業改革移動の有無利害
京城本町五丁目
三一館
地方八士は右鑑定料一圓五十錢九錢及業務年齡通知を要す 郵稅

朝鮮名產
鶴の箸
〇鶴の骨細工種々
〇鶴の羽細工種々
〇朝鮮土產品種々
製造發賣元 京城本町三丁目 電話二五〇 振替朝鮮四八
海市商會
特約發賣元 京城本町四丁目(電話九五六)
日之出商行
特約發賣元 京城本町六丁目(電話二一〇)
西崎本店

資本金五百萬圓
神戸海上運送火災保險株式會社
出張所 京城明治町一丁目 (電話一五四九)

人力車引越其他
諸荷物運搬請負
西小門内
西門組
電話一一七七

入院隨意
院長 醫學士 由利弘
副院長 醫學得業士 長尾乙二
慈惠會醫學士 尾上早見
東京醫科大學 鞍科專攻 菊池徹
藥劑士 常盤光雄
仁川病院
電話十六番

酒精アルコール
直輸入元
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電署サ)
坂倉支店

京城米倉町
龍山精米所
電話一二四番
各位御多辨辛貢候平素は一方ならぬ御引立を蒙り奉謝候今般京城米倉町(南大門内朝鮮人朝市場側)に新工場建築移轉致候原動機は最新式吸入瓦斯發動機を据付候のみならず精米設備に於ても萬般良改を加へ候間製品は從來より一段の精選を期し候何卒倍舊の御高庇を以て多少に拘らず御用命の程希上候

統監府及
諸官衙御用
荷物運搬
引越荷物受負
伊藤組
本町三 電話四〇番
南大門驛 電話七三二番
大和町 電話九四八番
第二 電話一六〇八番

文房具
和洋紙
測量器械
京城本町一丁目郵便局前
シノサキ本店
並買次營業申候
電話六四八番
振替朝鮮一五四番

●村雲尼公御來鮮

閑院宮殿下の姉君に渡せらるゝ京都堀川瑞龍寺の御門跡村雲尼公殿下には今回村雲會擴張の爲め滿鮮樺太等御巡教の趣きなるが先づ朝鮮地方御飛錫あるべきやにて來三月頃釜山着の御豫定なりと云ふ

徽毒新劑 六〇六號に就て（三）

總督府醫院皮膚科長 荒川醫學士談

次に此の新藥を注射するには靜脉內皮下又は筋肉內に行ひますどの方法にも一長一短ありますが**靜脉內**に**注射**すそのが一番副作用强い樣です前にも申した通り此の新藥は粉末で水に溶けますと强い酸性となりますから之れを「アルカリ」で中和して純中性として用ひます私が大學で實驗しましたのに**弱酸性**のものを用ひますと**痛**みが**極强**く初めのうちは夜も眠られん位で。痛みは一週間餘も續きました又**純中性**としたものを用ひますと疼痛や其外の副作用も大變輕い樣で此の新藥**注射後**に又血淸診斷法をやつて見るのは極肝要であります なんとなれば注射後の**血淸反應**如何はすぐ新藥の持久的効力換言すれば**黴毒**が全く**治癒**したかどうかと云ふことを知ることが出來るのです故に苟も此新の醫學にたちさはるものは此療法施行後一定の時期を定めて此の反應の檢査を怠らずにやつて新藥の研究に貢獻する所なければならんと存します又一方患者も此反應の有無、反應の强弱を檢査するは疾病の治療に必要なることが出來るのです此の反應に關しての報告は一時陰性なることあるも又內に陽性に變化すると云ふものが多い樣で新藥の應用を始めて以來日尚淺いことですから此點に就ては**今後の研究**によらなければなりません其故今日の所では何とも斷定を下す譯に參りません 附總督府醫院は模範的治療を旨とする故前述の如くワッセルマン氏血淸診斷法を行ひ確診してからでは該療法を受くるものは成るべく入院加療をなすと云ふ又此の新藥の注射料は非常に高價なるものゝ由なれども同院にては博濟の主旨により資力の乏しき人には原價にて貧窮者には施療をも行ふ趣きなり（完）

活動寫眞 二十日 朝の南大門驛

複面子

三寒四溫とやらの天候も、七溫とや云ふべき晴天には、富者も貧者も滿足の感謝を拂ふなるべし、明け渡る空の深き靄は、北漢山の疎林を籠めて、何んとなく春めくも嬉しい。

行き〳〵て南大門通**鍋島商店**の前に出でゝ、電車待つ間を陳列棚に目を注けば、中に飾れる**鏡臺**に二個の陶製**髑髏**が置く、寓意か洒落か

髑髏の上を裝ふて花見哉

の古句が、ふと浮んで其調和が恰かも社會の表裡を穿つて、一種の**人生觀**を曝け出した如きに、好奇の目を睜つた。

停車場は追々御入來の方々に暖爐の周圍は殆々相摩すでなく衣袖相摩すの光景を示す。

たゝ、若き女の匂ひ知らずや、四十の戀は苦いぞ、相並んで立てる男女の血か、竹の柱、茅の軒根、希くは此の二人の夢、長へに、夢たらしめよ。

驛前に數多の**鮮人小學生徒**は來りて**整列**した、之れに對して訣別するものは、卽ち**荻田廣吉**氏である、氏は**密陽**に轉すべく官立校洞普通學校を辭去るのである

手荷物棚には、大分縣北海部郡佐志生村、梅田治三郎、同まきどの木札ある行李六七個と、大分縣別府濱脇、立花屋別莊高橋千代吉行、南山町髙橋出の行李や、大邱元町二丁目善安彥太郎行、太平町二丁目喜安つや出、の大笥等が山と盛した。

安東縣材木商山下商會山良佐五郎との名刺あるカバンの傍らに立つ婦人は、寒むさうにとの**掲示板**を眺めて居る。

本日午前八時四十五分富驛着釜山よりの列車は約三十分遲延す

午前九時、釜山行列車は、輕く霜深き郊原に突入すべく放れた。忙しい僕は遲延の列車を迎ふべき閑もなく、來掛かる電車に飛び乘つて驛を辭した。

裏座敷靜松園

▽槍水席靜子の活動

南山町二丁目の槍水席と云へばウン彼れかと點頭れる藝妓置家なるが此所の抱への藝妓一同は神妙にも藝よりは枕の方に重きを置きて精勵するのなるが其中にも政彌、靜子、笑太郎、松葉なんどの面々は其の方專門なるものから從つて三面子の筆にかゝる浮名を唄はるゝも元より承知の連中なれば結句廣告に成つて結構だワと申し居ると聞いては聊か暖簾に腕押しオナラに突ッカイ棒張合のない事夥しい次第ながら拙者は書くが職掌とあるからには聞いた事は其の儘にもされねば新年早々茲に御披露申すは彼の**靜子**の艶聞なり此の妓前にも斷つた如く藝はタントない代りに顏も餘り美くないが女と云ふのと藝妓の鑑札を持つて居るれ蔭を持ちまして昨年十月前借金二百圓にて抱へられし以來御奇特な其處の商人彼處の請負人達に靜子〳〵と可愛がられしづやしづしづの苧環クリル〳〵と目の廻る程の繁昌も恰も好し腰が輕いので夫れ程苦にならず仰せの程を背かずハイ〳〵と云ふ事をゆくので益々**手輕筋**のお**氣**に入る譯其の內にも本町通りの**森高氏**には特別の御寵愛さりながら自宅に招く理由にも行かぬものから親しく隱れ遊びの場所は根が商人の**經濟**を重んじて何時も南山町は松園で一寸杯聞こし召しての待合行きがれ定まり此れは過る日の午後十時頃の事なるが松園の座敷にて異猫の珍鴨れ樂みの末の話しが理に落ちてか靜徐ろに溜息と云ふ奴を盛んに吐きつゝ「アノ眞實に何日落籍して下さるの妾しや一日も勤める氣はしないんですよ、自分体はようウ」某氏曰く「靜、夫れは本氣でか、元來藝妓なんかの口車に乘ると馬鹿を見るノみか新聞の厄介になるは判り切つたことだからナア」靜子曰く「アラすかないことを……」の話中靜子に**淸水**の**席**から**電話**があり差支出來たので明晩緩り、話の間に伴れ立つて座敷を出でんとして**熱きキッス**の現場を通り莵つた三面子がチョロリ嗚呼盛んな哉

●此頃流行の八八

機敏なる警官殿々の靴音高く巡邏中十八日午後八時頃龍山元町四丁目早川方奧座敷四疊半の室內より拔々の聲漏れ來るを早くも夫れと直ちに踏込めば之れはしたり八八の愉快最中賭博はた上の禁ずる所引致の上取調ぶれば愛知縣西加茂郡擧母町二番當時龍山元町四丁目三ノ三菓子商早川鐵次郎（四〇）を始め座の面々は山口縣熊毛郡田布施村九四當時同町三ノ四印刷業吉岡宇太郎（四七）廣島縣高田郡有保村當時祝町一土木建築請負業佐々木嘉一（四〇）愛知縣西加茂郡擧母町二三當時元町早川方伊藤金九郎（三〇）及び早川の妻せい（三五）の五人にして取調べの結果佐々木吉岡早川の三名は十五圓伊藤は十圓の各科料に處せられたり

●此れも同上

落花狼藉

折角の愉快も法に觸るれは是非もなし十九日午後一時頃龍山榮町高藤藤二郎方奧座敷に於て滋賀縣滋賀郡石山村當時龍山榮町一二二四雜貨商藤田千代吉（三七）愛媛縣新居郡大町村大字大町四八〇當時同町一二二表具職佐伯芳太（三六）富山縣婦負郡黑瀨谷村字櫻尾二七四當時同町龍榮堂菓子屋店員平野長太郎（三九）兵庫縣多賀郡比延庄村字高島當時同町村上福松方疊職石田十七藏（四〇）岡山縣久米郡西川村大字大平一三〇當時同町村上方佐藤久藏（三九）外朝鮮人一名は車座となつて賭博の眞最中其筋の眼力は見事に此等の惡戲者を一網打盡し本署に引致し取調べたるに充分悔悟の念顯著なりと認め訓戒の上放免せられたり

紘吟會例會開催

來る廿二日（第四日曜日）新年宴會を兼ね第二回紘吟會開催可仕候條本紙愛讀者及び投書家諸君爲隣御繰合せ奮つて御賛同御參會被成下度候

課題 元結 雪 猪（情歌）
日時 廿二日正午より
場所 南山町一丁目初音
會費 一圓半（當日御持參の事）
（追而御出席の御方は前日正午迄本社へ御通知を乞ふ）

正月 幹事

●野中推弘の公判

野中推弘事吉田淺吉が龍山和歌の家池上善之助より火災保險金として金百圓詐取云々の事件は曩きに豫審終決公判に付せられしが該事件は昨二十日京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長伊藤檢事の係りにて公判開廷されの被告は龍鐘として法廷に立つ被告辯護人として木尾辯護士出廷裁判長は事實の審問を爲す被告は犯罪事實を否認し辯護人は本件犯罪の證據となり居る池上善之助及むひさ並に抱藝妓竹村ますゑ等の豫審に於ける證言に曖昧なるを明白にし證人として被告內縁の妻杉山とよを參考人として取調られん事を申立て伊藤檢事は是に對し意見を陳べ一應閉廷したり

●被害者の嘆願書

大分縣人當時本町一丁目代書業衞藤進（三…）は訴訟事件依賴者より預りたる供託保證金三百九十餘圓を遊興費に浪費し未だ返還せざりし事被害者の告訴なきも北部署の刑事探知し横領罪として告發檢事局に送られ昨二十日野田檢事の手にて豫審に付せらる因に被害者は告訴の意思なきより事件解決して訓戒放免の嘆願書を提起したりと

●奸惡な請負業者

大分縣北海部郡大在村字横田當時日の出町百七番戶土木建築請負業藤野末松（三五）は昨年東拓砂里院出張所の建築工事を金九千圓にて請負工事竣工請負金を受領し下請人安達太郎外二十四人に對する支拂金七千圓を未拂にて昨年夏新町遊廓元南山樓娼妓住榮事宮田くに（二二）を落籍し逃走行衞を晦したるより其の筋より各警察に所在捜索手配せりと

●朝鮮飴の爆發

平南孟山郡玉井面朴用德の長男朴昌根（一二）は去る十四日午後五時頃學校より歸宅する自宅裏手の軒下に朝鮮飴のあるを見付けて何心なく喰ひしに口中にて俄然爆發して大負傷（生命に別條なし）したるが右の飴は父用德が狐狸を捕る爲めに爆發物を飴にて包み軒下に乾し居たるものなりしとは危險千萬

●仁川のボヤ

一昨夜午後十時頃仁川本町海岸通り水產市場前廣場に積置きたる空俵より發火したるも附近の者の驅集り消止めたり原因は番人の不注意より提灯かも空俵へ移りたるよし一時は中々の騷ぎなりし

●賭博常習者處刑

山口縣人當時龍山大島町二十番戶增野喜一（三六）長崎縣人當時大島町比田勝英二（五七）島根縣人當時大島町小林まつよ（二七）福岡縣人旭橋通り七十番戶近藤この（三四）は昨年十二月二十九日午後一時より增野喜一方に於て金錢を賭し博奕を爲し龍山署に檢擧され檢事局に送られしが昨二十日京城區裁判所に於て喜一及ことは罰金二十圓に英二及まつよは賭博常習者として懲役二ヶ月に處せらる

●電柱九十三本

京都市宇治郡山科村大字大宅五十九番地當時住所不定小林平三郎（三二）は窃盜前科付の曲物なるが請負業者髙島某に雇はれ京城郵便局の作業に從事中昨年十二月十三日より二十九日迄の間に於て電柱九十三本を竊取したるより京城裁判所に於て懲役六ヶ月に處せらる

●横領店員の處刑

町田貞三が太平町二丁目遠藤洋服店に雇はれ中洋服代金四百十七圓を横領費消したる事件は京城地方裁判所に於て懲役十ヶ月に

●三十五ヶ所を襲ふ

北部水門洞管內小安洞九統十六戶金聖完（三一）は三十五ヶ所に忍入り金品數百圓を竊取したる事北部署刑事に探知され目下取調中

●大同江水上運動會

平壤新聞社主催にて廿二日午前十時より大同江上に於て氷上運動會開催種々新奇なる運動競技ある由なり

●大法會紀念式

旭町一丁目鳳閣寺にては建立滿三年に相當するを以て諸信徒の信念を益々仰幸する爲め大法會紀念式執行廿日は祖士師大法會並に波羅密經一千卷讀經開白及び同殿堂寶前鰐口揚初式寒修行中並に詠歌和讚說敎等有りし由にて廿一日正午二千卷讀誦滿願供養あり尚去る六日より寒行中は護摩供執行參詣隨意なる由

●演藝だより

●京城座 今回大擴張を爲し坂地より新顏數名を加へ從來興行し來りし成美除一座と合併兄弟劇團の一座を組織華々しく開演の由にて木戶錢廿五錢均一尚午後五時迄の御來客は特に十五錢の大割引あり廿一日の藝題は一番目玉菊燈籠七場二番目戾り智改題小櫻萬治嫁入小袖上中下三場なり

●壽座 同座廿一日の替狂言は義民傳佐倉宗五郎大序より大詰まで大道具大仕掛にて鯉三郎の宗五郎梅十郎の渡し守甚兵衞佛光寺光瞻とは見ものならむ

株式會社漢城銀行第十期
明治四十三年十二月卅一日貸借對照表

負債

諸預金	七一五、五一〇・一七
代理店勘定	五八、八八〇・三〇
貸幣整理基金	五、六二三・五八
政府貸下金	一〇〇、〇〇〇・〇〇
資本金	三〇〇、〇〇〇・〇〇
積立金	七四、〇〇〇・〇〇
未拂配當金	二六二・三八
他店ヨリ借	三、一二九・八七
前半期繰越金	四、八二二・七四
當半期純益金	一八、〇一八・〇八
合計	一、二八〇、二四六・一二

資産

諸貸金	八四六、一七九・〇四
支拂送金手形	一、五二六・八一
株券及社債券	五二、九〇〇・〇〇
土地建物什器	三一、八九三・六八
未收入資本金	二二五、〇〇〇・〇〇
他店へ貸	九、八七二・九九
保管貨幣	五、六二二・五八
預ケ金及金銀	一〇七、二五一・〇二
合計	一、二八〇、二四六・一二

損益

一金五万九百四十六圓十三錢　當半期總益金
一金四千八百二十二圓七十四錢　前半期繰越金
合計金五万五千七百六十八圓八十七錢
内
一金三萬二千九百二十八圓〇五錢　當半期總損金
差引
一金二萬二千八百四十圓八十二錢　當半期利益金
此配當計算左ノ如シ
一金一千圓　積立金
一金五千六百二十五圓（株主配當金年一割五分）
一金一千八百圓　役員賞與金
一金一万四千四百十五圓八十二錢　後期繰越金

右ノ通リニ相違無之候也
明治四十四年一月
株式會社漢城銀行
長取締役男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
取締役 趙鎭泰
支配人 李升鉉
監查役 鄭永斗
前記各項ヲ調查シ其正確ナルヲ保證候也
追而監查役滿期ニ付改選シタル處再選就任セリ

◎唐箕万石千石
其他農具一式
右特別安價に製造販賣仕候間陸續御用命被成下度奉願上候詳細直段は御照會次第早速御返事可申上候
龍山新市街京町
古田德五郎商店
電話七〇一番

質
京城太平町二丁目三番元黑澤邸跡確實の擔保低利貸金融通す並古着買
宮永金藏
京城支店

◎貸金
旭町二ノ一五別府組車帳場筋向小路 高橋
有給者にて極秘密に低利融通可申候

質
京城旭町一丁目度支部官舍向側横路突當
旭町二丁目府廳裏路曲突當
壚見質店

◎遠きは郵信近きは即時!!

曩に會員五百六十餘名の贊助を得豫想外の稱賛を博せる本會は客年十一月を以て會員所定の提供を了へたるを以て好評嘖々再度開催方を促されしも時歲梢に屬し百事匆忙延ひて今日に至れり茲に年頭其筋の認可を得流行を逐ふて提供種目を一新し再第二回會員を募集せんとす若夫方法の輕便なると品質價格の正廉とは江湖既に定評あれば更に喋々するを要せざるべし
幸に本會を利用して調度の便を得んと欲せらるゝの士女は規定書に據り陸續御入會あらんことを
明治四十四年一月

月賦提供 京城時計興振會

◎此機を逸せず加入せられよ!!

一、本會は最も簡易なる月賦法を以て時計其他を會員に提供するを以て目的とす
二、募集期間は本年一月に始まり二月十五日を以て〆切とす
三、第一回抽籤は二月十九日（第三日曜日）午後一時を以て京城明治町淨土宗開敎院に開催す
四、提供品の種類は金側時計各種蓄音器自轉車寫眞機金鎖純金指環金緣眼鏡等とし一に會員の指定に任す
五、會員の定數は五百名とし募集區域は朝鮮一圓とす
六、期限中と雖も滿員の節は御申込を謝絕す
七、提供品は各取扱店頭に陳列し大方の尊覽に供すると共に會名を記したる一定の赤纎を軒頭に樹つ
八、滿會の際には抽籤に依り一等三越與服劵（四十圓）を始め種々の大景品を附し會員に進呈す
但し一本も空籤なし
九、方法及內容等は詳細載せて規定書にあり左記取扱店へ申込まるれば即時他呈すべし（送料郵劵二錢を要す）

取扱店（イロハ順）

京城本町六丁目	市川時計店　電話一〇五番
同　本町二丁目	織居自轉車部　電話四八〇番
同　鐘路通一丁目	加藤時計店
龍山榮町	川添天光堂
京城永樂町三丁目	川合時計店
同　本町四丁目	中村時計店
水原城內	簗田時計店
龍山榮町	福富時計店
京城本町一丁目	小林時計店　電話壹壹壹七番
同　明治町一丁目	寺島時計店
同　鐘路通一丁目	赤帽子時計店　電話九八七番
同　本町一丁目	金化堂時計店　電話一三一八番
同　本町五丁目	三浦天龍堂　電話一〇二番
龍山本町	壚谷天眞堂　電話五六二番
京城本町一丁目	平井勳資堂

取次店

京城本町四丁目	織居商會　電話二六二番
平壤南門通	同　支店　電話二三番
仁川本町三丁目	喜多金光堂本店　電話七〇五番
京城本町二丁目	同　支店　電話一〇一五番
同　本町二丁目	赤帽子商會　電話一一三一番

懷中良藥

仁丹 主効
▲惡醉宿醉 ▲舟車暈 ▲頭痛目眩 ▲氣の鬱 ▲胸腹痛 ▲口熱口臭 ▲齒の痛 ▲音聲美し ▲酒質味增 ▲惡疫豫防

消化と毒けし
JINTAN 仁丹 ジンタン 인단

快々として樂しむ人
仁丹飲めば心底より愉快になる

梅毒新藥
毒滅 DOKUMETSU
▼逆上さ ▼便秘と ▼體毒には
に限る
代理店 京城 新井藥房

ライオン齒磨

獅子印라이온齒磨

齒は食物を咀嚼する機關なれば常に強健なるを要す。腸胃其他の疾患にして、齒の惡しきより起るもの甚だ多し。又齒の良否は言語の利訥、顏面の美醜に大關係あり。ライオン齒磨は苦心多年、最良の材料を以て最良の製品を供給す。其品質の他を壓するや言ふ迄もなし。起牀の時、就寢の時、必ずライオン齒磨を使用して、齒を淸く丈夫にせば、齒一切の病氣を忘るゝのみならず、自然に飲食の消化を助け、自然に身体の強健を遂げ、口中の惡臭を去り、言語呼吸の間にも芳香馥郁として精神を爽快にすべし。殊に容器は嚴密完全を期し、体裁亦美なり。さればライオン齒磨は今や世界到る處に愛用せられ、製造に費す所輕きが故に、格別の廉價を以て盛んに供給せられつゝあり。

齒牙는飲食을咀嚼ᄒᆞ야몸을強健케하되만일咀嚼ᄒᆞ기化치못ᄒᆞ면몸은脆弱ᄒᆞ게ᄒᆞ니곳腸胃가되든關係有ᄒᆞ올뿐더러各種의病을釀ᄒᆞᄂᆞᆫ原因이되고至於小兒ᄂᆞ關係亦然ᄒᆞ온지라長ᄒᆞᆯ時에乳齒로飲食을咀嚼ᄒᆞ면잘消化ᄒᆞ야몸이健壯ᄒᆞ고成못ᄒᆞ며消化ᄒᆞ기야難ᄒᆞ게몸이殘弱ᄒᆞ야지父兄니ᄒᆞ야온齒란그잘老幼를勿論ᄒᆞ고生命에크게相關이되ᄂᆞᆫ言語와美醜되는것은齒牙의關係ᄃᆞ기甚大ᄒᆞ니今此效驗이最良材料를擇ᄒᆞ와製造ᄒᆞᆫ것시고多年의經驗이有ᄒᆞ品質이與他自別ᄒᆞ니齒牙를닥가면極白ᄒᆞ게ᄒᆞ고起枕ᄒᆞᆯ적과就寢ᄒᆞᆯ적에와덧셔ᄒᆞ고堅固ᄒᆞ고齒痛이念이업고염녀ᄒᆞᆷ이니風齒가生ᄒᆞᆯ쏘몸이건강ᄒᆞ시고오口中에飲食이自然消化ᄒᆞ고諸般之病이自然이强ᄒᆞ야精神이爽快ᄒᆞ고口臭가無ᄒᆞ며言語呼吸之間에도芳香이馥郁ᄒᆞ고로地球上에至ᄒᆞᆫ處마다使用ᄒᆞ시ᄂᆞᆫ이만ᄒᆞ시고또製造ᄒᆞ기에드ᄂᆞᆫ所費가輕ᄒᆞᆫ고로甚히廉價가되옵ᄂᆞ니다

ライオン齒磨
ばんざい齒磨
本舗 東京神田區柳原河岸 大阪市東區博勞町二丁目 名古屋市西區傳馬町四丁目
小林富次郎

諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候兼業
京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 京城本町三丁目 森久商店